

林業安全コラム

みんなでつなぎ 高まる意識
達成しようゼロ災害

○ 冬山作業における労働安全の確保について

- 積雪、凍結等により林内が滑りやすい状態になっていることから、滑り止めを適切に着用するとともに、林地の傾斜、積雪量、凍結状況等に十分配慮して足場を確保して下さい。
- 冬期は寒さのために身体が動きにくくなることから、作業前は体操等により体をほぐすとともに、手元、足元、周囲の確認など常に変化する作業環境を把握し基本動作を遵守して下さい。
- 積雪期における伐倒作業に当たっては、足元の確認、足場の確保に加え、頭上の状況を把握して下さい。
- 車両の運転にあたっては、路面の凍結・積雪がある場合は、速度、車間距離、ハンドル・ブレーキ操作に留意し、予め滑り止めを装着するなどの措置を講じて下さい。



○ 年末年始無災害運動 ～平成26年12月15日から平成27年1月15日まで～

年末年始無災害運動は、働く人たちが年末年始を無事故で過ごし、明るい新年を迎えることができるようにという趣旨で、昭和46年に中央労働災害防止協会主唱で始まり、今年で44回目を迎えます。

＜今年のスローガン＞

「安全の足並み揃えて 手を抜かず 年末年始もゼロ災害」

「安全最優先」の考え方を基本に、あわただしい時期にこそ、作業前点検、作業方法の確認などを着実に実施するよう心がけて下さい。



○ 林業労働災害の発生事例について (類似災害防止のために！)

【事例】

当日、被災者は同僚とともに広葉樹の皆伐作業に従事。9:00頃、搬出作業に従事していた同僚が伐倒木(L:10m D:30cm)の下敷きになっている被災者を発見。

その後、被災者は病院に搬送されたが、胸などを強く打っており、発生からおよそ2時間後に死亡が確認された。

＜目撃者がいないため現場状況から推察＞

被災者は、伐採木を谷側(斜面下方)に伐倒しようとチェーンソーで追口切りをしていたところ、受口が浅かったため、突然幹が裂け、被災者の方向に倒れてきたものと推察。

【伐倒作業中の災害が後を絶ちません！くさびを使用するなど確実な伐倒の徹底を！】



くさびと伐倒



- ・ 林災防本部は、3件目の死亡災害が発生した兵庫県支部に対し、11月13日付けで「林業死亡労働災害多発警報」を発令しました。
関係機関におかれましては、労働災害の再発防止に向けた取組にご協力をお願いします。
- ・ 本年も残すところ1ヶ月となりました。笑顔で一年を締めくくれるよう最後まで気を抜かずに「安全第一」でお願いします。

林業労働対策室
労働安全衛生班